

marie claire

marieclairejapon.com

28th August, 2025
No.200



Emotion
in Motion

秋へ、動き出す感性

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.200

「大阪・関西万博」は日がたつにつれ、入場者も増加し、また評判も良くなっています。開幕前は果たして黒字になるのかどうかさえ心配されていましたが、入場者数もうなぎのぼりです。行った方々の「期待以上に面白かった」という声もよく聞かれます。主催者も、運営に当たる人たちも胸をなでおろしているのでは。

さてそんな「大阪・関西万博」で特に人気があるのがイタリア館だそうです。我々メディアの側にも、イタリア館からはいろいろなイベントの案内が頻繁に送られてきます。イタリア各州の食材やワイン、観光をテーマにしたイベントはもちろんのこと、有名な「サンレモ音楽祭」に出演した歌手の来日とミニコンサート、ミラノのファッションブランドのイベントなど、我々日本人にもなじみのある現在のイタリアが、毎週のように紹介されているのです。来年に開催される「ミラノ・コルティナ冬季五輪」の国際的なプロモーションの場として、この万博を考えているのかもしれません。

五輪といえば毎回各国のユニフォームが話題になります。日本は大会ごとにデザイナーが替わりますが、イタリアは2012年のオリンピックから夏冬ともにジョルジオ・アルマーニによるもので、街着としても着られる美しく機能的なものです。

弊誌193号でも紹介しましたが、「ジョルジオ アルマーニ」は、去年はニューヨークに新しい複合ビルを誕生させ、2025年春夏コレクション・ショーも同地で開催しました。

今年はブランド設立50周年に当たり、またブランドの最高峰「ジョルジオ アルマーニ プリヴェ」も20周年をむかえました。

「プリヴェ」とは「プライベート」を意味し、希少性や個性、そして洗練されたライン、卓越したクラフトマンシップ、宝石のような刺繍を特徴とし、モダンな創造性を表現するオートクチュールラインのことです。「ジョルジオ アルマーニ プリヴェ」は2005年春夏コレクションでのデビュー以来、新たなアイデアや大胆な解釈、新鮮なビジョンを表現してきました。

2012年のコレクションでは中国文化からインスピレーションを得た作品を発表、2011/2012 秋冬コレクション「Hommage au Japon」では日本の洗練された文化へのリスペクトを表現しています。最近では、アルマーニの美学を深く追求した、タイムレスな魅力を持つ作品を創り出しています。特に7月に開催された2025年秋冬オートクチュール・コレクションでは「魅惑のノワール」と題し、長年ノワール（黒）という色に特別な関心を持っていたアルマーニが、洗練さの中にいろいろなニュアンスを持つノワールという色の、スタイルを際立たせ、さまざまなシルエットをタイムレスなアイコンへと転化させる力を表現しています。

アルマーニのオートクチュール・コレクションでの功績はショーの発表の仕方にも表れています。2007年春夏オートクチュール・コレクションはパリの近代美術館から初めてオンラインでライブ配信し、新時代の先駆けとなりました。当時アルマーニは「オートクチュールは、ファッションの歴史とともに歩んできたものであり、創造性と仕立ての技術が極まれる世界です。しかし、これまでは限られた人だけがその魅力を体験できるものでした。今は、インターネットという開かれた場を通じて、誰もが最前列でその美しさを感じ取ることができるのです」とコメントしています。

今年91歳になったアルマーニは昨秋、自身の引き際について語り、今後数年での引退を表明しました。現在ミラノでは「ジョルジオ アルマーニ プリヴェ」の設立20周年を記念して、「ジョルジオ アルマーニ プリヴェ 2005—2025」(5月21日～12月28日)が開催されています。「オートクチュールは、ファッションがアートに昇華する瞬間です」と語るアルマーニ。不世出のデザイナーの限りあるこれからのクリエーションは、今まで以上に大きな注目を集めることになるでしょう。

2025年8月28日


田居克人

Katsuto Tai, marie claire 編集長

Contents

- 5 Welcome to marie claire /
- 6 Cover Story: Sairi Ito × Maha Harada /
- 8 marie claire international /
- 9 Style Picks: Equestrian Chic /
- 10 GABRIELA HEARST /
- 11 Style Picks: Burgundy Romance /
- 12 TIFFANY & CO. /
- 13 Art /
- 14 Beauty: Autumn Look /
- 16 Travel /
- 20 News /
- 21 Travel: HOSHINOYA OKINAWA /
- 22 marie claire open golf in Aichi 2025 /
- 23 News, shop list

COVER

photo: Seiji Fujimori
hair & make-up: Aiko Okazawa
styling: Akane Yoshida
dress, necklace, earrings: FENDI

marie claire

2025年8月28日発行 第14巻 第8号(通巻200号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

デジタル編集長 Editor in Chief Digital:
宮智 泉 Izumi Miyachi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
齊賀明宏 Akihiro Saiga

副編集長 Deputy editor:
大林理子 Riko Obayashi

編集部 Editorial Team:
高波麻奈美 Manami Takanami
マルチンバヤル ホスツェツェグ
Malchinbayer Khostsetseg
岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
tel. 03-3216-8815
THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD.

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive Director:
Jean de Boisdeffre
International Deputy & Finance Director:
Felix Droissart
International Brand Director:
Nicia Rodwell
Chief Content Officer:
Galia Loupan
Chief Digital Officer:
David Jullien
International Fashion & Beauty Chief Editor:
Florence Deladrière
Senior International Brand Manager:
Céline Hananel
International Editorial Coordinator:
Marie Bazin
Global Partnerships / Media solutions:
Magali Riboud (Agence Riboud)
Foreign right Commercial:
Thibaud le Paih
Licensing Manager:
Stephanie Ertzbischoff
Iconographer- Photo library:
Isabelle Teboul

©MARIE CLAIRE ALBUM 2025
©THE YOMIURI SHIMBUN 2025
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本誌に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込みです。



俳優・伊藤沙莉と作家・原田マハ もの作りに向き合う二人の共鳴

Sairi Ito × Maha Harada

沖縄県の南大東島で育つサトウキビを使って、ラム酒を作りたい——。
そんな夢を追う女性を描いた、原田マハの小説『風のマジム』が映画化される。
沖縄で生まれ育った主人公・伊波まじむを演じるのは、伊藤沙莉。
実話をもとに、挑戦を明るく温かく描いた本作は、働く女性たちへの応援歌だ。
真心を込めてもの作りに向き合う作品を通して、二人が感じたことは？

©2025 映画『風のマジム』©原田マハ／講談社



累計14万部の人気小説、待望の映画化。
沖縄・南大東島のサトウキビから
ラム酒を作りたいと、
社内のベンチャーコンクールを
活用してビジネスを立ち上げ、
契約社員から社長になった
女性の実話をもとに、
原田マハが描く感動の物語。
夢に向かって奮闘する
主人公・まじむの姿が、家族や
島の人々との絆とともに描かれる。

©2025 映画『風のマジム』©原田マハ／講談社



『風のマジム』
出演: 伊藤沙莉、染谷将太、
尚玄、シンド・カワカ、橋本一郎、
小野寺ずる、眞島秀和、肥後克広、
滝藤賢一、富田靖子、高畑淳子
監督: 芳賀薫
原作: 原田マハ『風のマジム』（講談社刊）
製作・配給: コギトワークス
共同配給: S・D・P
特別協力: グレイス・ラム
105分
majimu-eiga.com

小説『風のマジム』は、沖縄産ラム酒作りに奮闘した金城祐子さんをモデルに描いた物語ですね。

原田マハ（以下**原田**） 小説家デビューする前、ライターとして金城さんにインタビューさせていただいたんです。その際、「今から5年経って、金城さんのラム酒が多くの人々に飲まれ、私が小説家になっていたら、『沖縄産ラム酒を作った女性』の小説を書かせてください」と約束して。実現したうえに、その先の未来で沙莉さんが演じてくれた。こんな大きなギフトが人生に待っていたとは！という感じです。試写を見た金城さんはボロボロ泣いて感動していました。

伊藤沙莉（以下**伊藤**） ホッとしました。実話を発展させて小説が生まれ、さらに映画になっているので、必ずしも金城さんの真似をしなければならないわけではないと思うんです。でも、実際にその人生を生きた人がいるとなると、やっぱり緊張しますね。「違う」って思われないという気持ちがあります。

原田 沙莉さんは表面的ではなく、内から出てくるような表現をする方。演じている感じがなく、まさにまじむでした。役作りをあまりしないと聞きましたが、人物を自分の中に入れて現場で出すことは、沙莉さんにとって自然な行為なんですか？

伊藤 「やってみないとわからない」と思うほうなんです。プランを立てて現場に行っても、演出や相手のお芝居が想定と違うかもしれない。20代前半の頃、ある作品で「こう演じたい」という思いが強く、細かく考えていたことがあって。でも結局、全然思った通りにならなかった。その時に「私は用意するのはダメなタイプなんだな」と気づきました。脚本に書かれている通りに演じて、そこから感じたもの、生まれたものを大切に。私たちが俳優は0から1を作るわけではなく、1からどこまで広げていくかなので。

原田 だから自然に見えるんでしょうね。役を自分の血肉にして滲ませている感じで、説得力があるんです。沙莉さんは見たものや思ったことを自分の中に入れてエクスプレスする、つまり押し出す力を持っている。表現するには、この押し出す力が必要なんだと思います。

伊藤 “はてな”が自分の中に一つでもあると、物理的に動けなくなってしまう。「どうしてこの人、今立っただろう？」とか思うと、頭が真っ白になる。だから、「どうしてここに行くのか」みたいなことは監督とよく話しますね。

原田 最近、初めて映画監督に挑戦したんです。以前はキュレーターとしてさまざまな表現者を融合させて展覧会を作ってきましたが、今回それを映画に求めました。現場には、いろんな職能を持ったスタッフ、個性的なキャストが集まっている。表現者がぶつかり合うところで、自分の軸がぶれることなく、映画を作り上げていくのは相当に大変だと気づきました。『風のマジム』は、芳賀薫監督の素晴らしい指揮のもと、沙莉さんがリズムを与えて、いい風を送っている。共演者と響き合って、いいオーケストレーションになっていますね。

豆腐店を営むまじむのおばあ、おかあも魅力的です。お二人が憧れるのはどんな女性ですか？

原田 おばあもおかあも、もの作りに誠実に向き合うクリエイターですね。私自身は年代ごとにロールモデルを決めています。フランスの作家マルグリット・デュラスが50代になった時、文章で書くことに限界を感じて、映画監督を始めたんですよ。その姿勢に励まされました。

伊藤 私の母は波瀾万丈な人生を送っている人なんですけど、いつも楽しそうなんです。今ある幸せを噛み締めていて、素敵だなと思います。そういうふうに、幸せを幸せだとちゃんと考える人でありたいですね。まじむは出会いに恵まれている人。チャンスに気づいて、導かれていく。受け入れる余白があるんですよ。私も常に余白を空けておき、縁やタイミングを大切にしたいです。

原田 そういって、まじむを柔軟性のある人に演じてくださったんですね。本当に、沙莉さんにぴったりです。

©原田マハ／講談社



『風のマジム』
著: 原田マハ
320ページ ¥770
講談社文庫

伊藤沙莉

1994年5月4日生まれ、千葉県出身。
2003年、ドラマでデビュー。
2024年度前期NHK連続テレビ小説「虎に翼」で主演を務め、国民的な人気を誇る俳優に。
その他、近年の主な出演作に、
ドラマ「ミステリと言う勿れ」(22/CX)、
「シッコウ!!〜犬と私と執行官〜」(23/EX)、
映画『ボクたちはみんな大人になれなかった』(21)、
『ちょっと思い出ただけ』(22)、
『探偵マリコの生涯で一番悲惨な日』(23)などがある。
10月には映画『爆弾』の公開も控えている。

原田マハ

1962年生まれ。作家、キュレーター。
2003年、カルチャーライターとして執筆活動を開始し、
2005年、『カフーを待ちわびて』で第1回日本ラプストリー大賞を受賞、映画化される。『楽園のカンヴァス』『シヴェルニーの食卓』など美術を題材にした作品をはじめ、多彩な小説を手がける。
photos: Seiji Fujimori (Cover,P6)
hair & make-up: Aiko Okazawa (Sairi Ito) ,
Emi Sakashita (Maha Harada)
styling: Akane Yoshida (Sairi Ito)
interview & text: Saya Tsukahara



〈右・伊藤沙莉〉ドレス¥442,200 ネックレス¥289,300 イヤリング¥100,100〔すべて予定価格、9月上旬発売〕 シュース〔参考商品〕(すべてフェンディ／フェンディ ジャパン) 〈左・原田マハ〉衣装私物

獅子座 7月23日→8月22日★意欲はあるのに、空回りや気持ちの揺らぎを感じやすいタイミング。無理に背伸びせず、好きな自分であることを大切、肩の力を抜いて、自然な会話や振る舞いを意識してみよう。



Brunello Cucinelli 「直観と理性」がテーマ。乗馬スタイルを上質な日常の装いに。コート¥1,342,000 ベスト¥204,600 シャツ¥204,600 タイ¥72,600 パンツ¥308,000 グローブ¥226,600 ブーツ¥392,700 ブローチ [参考商品] (すべてブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン)

©Filippo Fiori



Hermès パリの馬具工房からその歴史がスタートした「エルメス」。今季もそのエッセンスが随所に宿る。コート¥3,894,000 ニット¥311,300 ブーツ¥475,200 [参考価格] ベスト、ショーツパンツ [ともに参考商品] (すべてエルメス/エルメスジャパン)



Loro Piana スコットランドとの深い絆を表現したコレクション。コート¥728,200 ベスト [参考商品] ニット¥196,900 パンツ¥289,300 ゲーター¥19,600 ブーツ¥280,500 ハット¥224,400 バッグ¥951,500 (すべてロ・ピアーナ/ロ・ピアーナ ジャパン)



4

Equestrian Chic モードに愉しむ乗馬のスピリット

乗馬という美学が、今、ファッションのフィールドで再燃。クラシカルな装いにモダンな感性を忍ばせて凛とした女性像を描く。そんなモードに進化した乗馬イメージのアイテムを厳選。気高く、しなやかに品格のあるスタイルを。

styling: Mutsuko Matsukawa
text: Miyuki Kikuchi

1.Miu Miu クラシックなチェック柄にシアリングカラーがアクセントを添えるボンバージャケット。ノスタルジックな雰囲気がある。ジャケット¥748,000 [予定価格] (ミュウミュウ/ミュウミュウ クライアントサービス) **2.Chanel** 指先のダブルCがアイコニック。どんなスタイルにも合うキャッチーなグローブをスタイルのポイントに。グローブ¥191,400 [予定価格] (シャネル/シャネル カスタマー ケア センター) **3.Dior** 馬鞍のフォルムにサテン地を用い、フレーザーズの刺繍を施した、メゾンのサヴォワールフェールが光る逸品。バッグ“サドル” [W22×H14.5×D4.5cm] ¥880,000 (ディオール/クリスチャン ディオール) **4.Gucci** ブランドを代表するホースビートのハードウェアが特徴的なネックレス。大ぶりのポリウム感がモダン。ネックレス [チェーン長さ100cm] ¥319,000 (グッチ/グッチ クライアントサービス) **5.Emporio Armani** マスキュリンとフェミニンなテイストがミックスされたキャスケットは乗馬スタイルのマストアイテム。帽子¥51,700 (エンポリオ アルマーニ/ジョルジョ アルマーニ ジャパン) **6.Chloé** 丸いメダルバックルに施された馬のモチーフとロゴがアイコニック。ベルト¥68,200 (クロエ/クロエ カスタマーレレーションズ) **7.Burberry** エレガンス×モダンが旬なニーハイのホーススライディングブーツ。プレミアムカーフレザーを使用し、背面にバックル、ブルオントップをON。ブーツ [H3cm] ¥280,500 (バーバリー/バーバリー・ジャパン) **8.Jil Sander** ブロンズチェック柄にセンタープレスのハーフパンツ。サイドに赤のステッチを利かせたデザインが新鮮。パンツ¥192,500 (ジル サンダー/ジルサンダー・ジャパン)

現在、世界30カ国で出版、配信されている『マリ・クレール』。その最新記事から気になる話題を厳選してお届け。今号はフランス版から、女性の活躍が目覚ましいオリンピック委員会のニュースと、パリで今、注目の展覧会情報をピックアップ。

translation: Tomoko Kawakami

©Harold Cunningham / Getty Images



2004年のアテネオリンピックに出場し、背泳ぎで金、銀、個人メドレーで銅のメダルを、さらに北京でも金、銀のメダルを獲得したIOCの新会長カースティ・コベントリー

from marie claire FRANCE

IOC初の女性会長が示す 新しいオリンピックの形

今年6月、国際オリンピック委員会 (IOC) 会長に就任したカースティ・コベントリー。12年にわたり、指揮を執ったトーマス・バハに続く第10代の会長が初の女性、かつアフリカ人ということで注目を集めた。ジンバブエ出身の競泳・背泳ぎ金メダリスト、そして母親でもある彼女は「子育てとキャリアの両立は可能」という強いメッセージを世界に発信したことも有名だ。競技引退後は、政治の道へ進み、祖国のスポーツ大臣に就任したカースティは今、41歳。IOC会長就任時の会見では「母と仕事の両方を手にできる時代にしたい。どちらも諦めずとも選べる道がある」と語った。さらに「オリンピックはメダルだけではなく、そこには人間の努力と感動、繋がりがあ。それを次世代に伝えたい」とも。

そして時を同じくして、日本オリンピック委員会 (JOC) でも初の女性会長として、メダリストの橋本聖子を選出された。世界でも日本でも、オリンピックで活躍した女性たちがリーダーとして手腕を発揮する時が来たようだ。



©Kyodo News / Getty Image

冬季ではスピードスケート、夏季では自転車、合計7回のオリンピックに出場したJOCの新会長・橋本聖子。現在は参議院議員としても活躍



63歳になった今も時代に沿った美とは何かを追求するデザイナー、リック・オウエンス。『マリ・クレール』フランス版でこの展覧会について語っている

from marie claire FRANCE

リック・オウエンス初の回顧展がパリで開催中

“異端児”から“カルトの人気を誇る存在”へと進化し、独自の世界観を追求するカリフォルニア出身のファッションデザイナー、リック・オウエンス。1992年にLAで自身のブランドを立ち上げた彼は、2003年にパリへと拠点を移す。「自分のような者がパリのファッション界に受け入れられていることに、ただ感謝している」と言うオウエンス初の大規模回顧展「Rick Owens, Temple Of Love」が現在、パリ市立ガリエラ宮で開催中だ。

デザイン活動を始めた初期のものから、最新のコレクションまで約100点以上の作品を展示し、彼自身が芸術監督として展覧会の企画にも参画。その創作工程が垣間見られる貴重な資料やビデオ映像、未公開のインスタレーション、さらには、オウエンスの芸術的ルーツであるアート作品も並ぶ。彼のデザインは、今も昔もモノトーンを基調にした構築的なフォルムが特徴で、アンダーグラウンドカルチャーや宗教儀式、ボディアートなどからの影響を融合させた極めて多様性に富んだ美意識で構成されている。

「今の世界に蔓延する、極端に狭い美の基準に当てはまらない人の“安全地帯”でありたい。その基準を否定するのではなく、他の選択肢もあることを提示したいんだ。他者にも、自分自身にも寛容でありたい、と思っているよ」

©RICK OWENS TEMPLE OF LOVE - MATTEO CARCELLI



会場の入り口側には、彼の経歴を彩るさまざまな年代のアイコニックなルックがずらり。デビュー当時から現在までの作品が堪能できる

「Rick Owens, Temple Of Love」会場: PALAIS GALLIERA, PARIS FASHION. MUSEUM / パレ・ガリエラ (パリ市立モード美術館) 10, avenue Pierre 1er de Serbie 75116 Paris 会期: 2026年1月4日まで ※事前予約を推奨 予約サイト: www.billetterie-parismusees.paris.fr

©RICK OWENS TEMPLE OF LOVE - MATTEO CARCELLI



2006年にイタリアで開催された見本市、ピッチィ・ウオモで公開した彫刻も披露。この作品のモチーフは、放尿しているオウエンス本人の姿



©OWENSCORP

Rizzoliより回顧展のカタログを発売。「Rick Owens: Temple Of Love」¥9,020 *日本国内では RICK OWENS STORE TOKYOで限定販売中

蟹座 Cancer 6月22日→7月22日★あなたの言葉に力が宿る時、思いつくことや好きなことは躊躇わずに発信を！ふとした一言が思わぬ展開に繋がることも、周囲の反応を楽しんで進んでいくことでチャンスも広がります。

双子座 Gemini 5月21日→6月21日★心のリセットがチャージに繋がる暗示。心地よさの基準が静かに変化していく。走り続けていた日々から少し休息を取ることが思考の整理に繋がり、メンタルの軽やかさを取り戻す道。

1

A dark red, short-sleeved top with a V-neckline. It features a decorative ruffled detail on the front, consisting of two vertical ruffles that meet at the waist. The top is shown against a white background.

9

A red, quilted leather ankle boot with a zipper on the side and a thick, textured sole. The boot is shown from a side profile, highlighting its quilted texture and chunky sole. An inset image in the top right corner shows a close-up of the boot's sole and the zipper area.

7



5

6

A full-length photograph of a woman with long dark hair, wearing a vibrant blue strapless, form-fitting dress. She is holding a large black tote bag in her right hand and is walking on a light-colored surface. The background is a simple, modern interior with a white wall and a dark floor.

「ガブリエラ ハースト」の
2025-26秋冬コレクションは、
考古学者マリヤ・ギンブタスの
「女神の言語」が着想源。蛇や螺旋など、
生命や再生を象徴するモチーフを用い、
力強い女性らしいデザインに昇華させた。
外来種を捕獲することで調達した
“インヴェルサ素材”の
パイソンやヴァンテージジंक、
認定されたなめし工場のレザーなど、
環境に配慮した素材や
技術を取り入れ、神話と
持続可能性を融合。

1. **Prada** 立体的に構築されたトランプスは、ステッチのデザインを細心の注意を払い切り抜いたもの。カドが特徴的で、またアートピースのよう。トランプ ¥429,000 [予定価格] (フラダ / プラダ クラフトサービス) 2. **Fendi** 耐水性と独特の光沢感。しなやかな質感が特徴的なナイルゼーに、ダイアゴナルラインのデザインを施したシックなベルトが大人のモードを引き出す。ベルト ¥154,000 [予定価格] 9月10日発売予定 (フェンディ / フェンディ ジャパン) 3. **Miu Miu** メンズを象徴するバグのひつと「マテラセ」からミニプロがラインアップ。ストラブベルトを持つバグが揺れて可愛がUP! バグ [W15×H8.5×D5cm] ¥308,000 [予定価格] (ミウミュウ / ミウミュウ クラフトサービス) 4. **Loewe** 20世紀で最も影響力のある抽象画家の一人、ジョセフ・アルバースの作品から着想を得たアートが登場。ポスター ¥168,300 [予定価格] (ロゼン / ロゼンジャパン フライアットサービス) 5. **TOD'S** ラウエーひつとと目を惹いたエレクトロニクスは、デジにフィット感。上級、スクエアには光沢感のある上質レザーを使用した異素材ミックス。遊び心とエンガンを添えてバグ ¥663,300 [参考価格] (トッズ / トッズ・ジャパン) 6. **Jimmy Choo** アッパーにあしらわれたコレクトビリティは、レザーレースを手作業で丁寧に作り上げられた。トナリー (作り上げられた)。トナリー アルドで大人の女性にぴったりの一足。ミューズ スカーレット [H5cm] ¥149,600 (ジミー チュウ) 7. **Ferragamo** 今シーズンは「花」がテーマに。サテン地をベースに繊細なオーガジーの花々をひとつひとつ手作業で施すデザインは、職人の高い技術によるもの。バグ [W20.5×H15.5×D10cm] ¥286,000 (フラガモ / フェガモ・ジャパン) 8. **Bottega Veneta** 肌馴染みのよい柔らかなスエードを使用したナイトレインボーはキャンセイルで歩きやすいのもも。バグ [H5cm] ¥231,000 (ボッテガ・ヴェネタ / ボッテガ・ヴェネタ ジャパン) 9. **GivENCHY** ガンテングのエスプリを利かた大胆なワリスラジエリーでデザインしバグを幅広く装いを楽しむ。プレスト ¥319,000 (ジバンチ / バ・サバート / ジバンチ ジャパン)

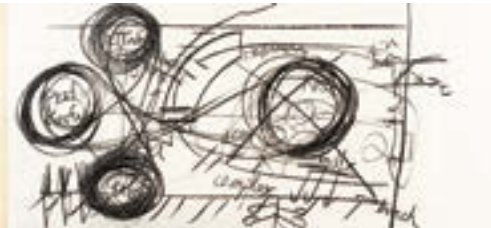
日常の境界をゆさぶる身体と思考の「実験室」へ

彫刻や装置などを用いたインスタレーションに即興的なパフォーマンスを組み込み、領域を横断したアート表現を試みる笹本晃。10代で渡英し、現在アメリカを拠点に活動する彼女の過去20年ほどの活動を振り返る展覧会「笹本晃 ラボラトリー」が東京都現代美術館で開催中だ。その創作の源泉について話を聞いた。

text: Mutsuko Ota, All Images © Aki Sasamoto, Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo



《Strange Attractors》2010
[個展 (Take Ninagawa, 東京) でのパフォーマンス風景] 個人蔵
撮影: 岡野圭



《Strange Attractors-Diagram 1.9.2011》2011
個人蔵

本晃の作品を一言で語るのには難しい。机や配管、日用品などを使った“装置的な彫刻”がインスタレーションとして登場し、動いたり、音を立てたりする。そこに自らの身体が入り込んで作品として立ち上がっていく。今回の「笹本晃 ラボラトリー」の展示では、2005年から今に至る作品を「ラボラトリー＝実験室」に見立てて回遊する構成の中に、彫刻やビデオ、身体表現が混在し、キネティック彫刻として動き出す作品も、魚のルアーや罠をモチーフにした新作も、生活の延長線にある行為が作品となったもの。アーティスト兼サーモン漁をする夫や釣りが好きな息子とともに海辺で暮らす日常は、創作の源泉でもある。「食べることから派生して作り、育てることを追求していくと作品に行き着くんです」と語るように、彼女にとって日常と表現は地続きだ。

制作のアプローチは「仮説から導いていくときもある。飛び込んでからひらめくこともある。入り口はいつも



《Sounding Lines》(部分) 2024 [個展「測深線」Para Site 藝術空間 (香港) 2024 での展示風景]
Shane Akeroyd氏蔵 撮影: Studio Lights On



《スビリッツの3集》2020
弘前れんが倉庫美術館蔵
撮影: 畠山直哉 図版提供: 弘前れんが倉庫美術館

違います」。科学者や音楽家など他分野とのコラボレーションも多く、「答えのないものを他者と探そうことが楽しい」。そして、作品を見せる展示は「通りがかりの人が、昼屋さんの作業をガラス越しに見るような感覚」。アーティストが導き出した答えやメッセージを伝えるというよりも、見る人の思考を呼び起こす場を提供し、「私もわからないことを、一緒に考えてもらいたい」という。誰より自分自身がそのプロセスを楽しみたいのだ。

社会における貧富の差や不公平に怒りを持ち、日本を出た。やがて数学に興味を持ち、ダンスに夢中になり、アートに収斂していった。作品に通底するのは「ギリギリの線」。「最初は数学の漸近線に興味を持って、でも境界は物理の世界にもあるし政治にも社会にも人と人にもある。ものごとが変化する境界に興味があるんです。最初にのめり込んだダンスも、私自身が変身することでしたしね」

イエール大学大学院の彫刻科専攻長という顔も持つ。「教育は「俯瞰する場所」として、社会と関わ

ます。アートは答えがひとつじゃないし、終わりはない。展示は一時的に見える場所になるだけで、すべては「思考中」のまま続くんです」。実験と観察、生活と創作、問いと遊びのあいだで、彼女の表現はゆるやかに循環し続ける。

Exhibition data
避暑がてらアート写真の祭典へ
「浅間国際フォトフェスティバル2025 PHOTO MIYOTA」

軽井沢の隣町、御代田町の自然豊かな高原を舞台に、国内外の気鋭写真家たちの作品が屋外、屋内ともに展示される恒例のアートイベント。今年のテーマは「Unseen Worlds」。日常に潜む見ええない世界を写真を通して探る試みだ。アートと自然風景が融合する開放的な空間は、訪れる人々に新たな視点と発見をもたらしてくれる。この夏、五感で感じるアート体験を。
会場: MMoP (モップ)
住所: 長野県北佐久郡御代田町馬瀬口1794-1
会期: 9月30日 (火) まで
休館日: 水曜日 (8月13日を除く)
開館時間: 10:00～17:00 (屋内展示の入場は16:30まで、屋外展示は常時観覧可能)
料金: 無料 / 屋内展示鑑賞チケット1,200円
問い合わせ: 0267-32-3111
https://asamaphotofes.jp/



天秤座 Libra 9月23日～10月22日★忙しさを追われていた日々にもったりとした静けさが戻ってくるタイミング。穏やかな時間を大切に。だわりや、情性で続けていたものを一旦止めてみることで身体も心も軽くなる暗示。



1. ミケランジェロ・ピストレットによる迫力のアートが印象的な1階 2. 和紙を使った天井が特徴の地下1階。オードリー・ヘプバーンを題材にした作品も 3. 2階の天井には「金沢縁付金箔製造」による円形の装飾が施されている 4. 3階ではブライダルリングの他、「ティファニー」のハイジュエリーの真鍮に触れるサロンも 5. ジュリアン・シュナーベルの作品が目を引き4階のホームコレクションのコーナー

Immersive Moving Fresco
by Oyoram Visual Composer



6. 日本人アーティストのススム・カミジョウのアート作品が飾られた2階のVICサロン 7. 隠れ家のような3階のVICサロン。一部屋ずつ異なるインテリアが優雅な時間を演出 8. 階段には、二の丸庭園の自然を再現したデジタルパネルが壁一面に広がる



ティファニー ブルーに包まれた4階の「ブルー ボックス カフェ」。東京・代々木上原にあるフレンチレストラン「été (エテ)」の庄司夏子シェフが監修を手がける



〈右〉高さ66メートルに及ぶティファニー ブルーの革新的な建築。「ティファニー」の創業者の長男でありアーナル ノーヴォーを代表する画家、ルイス・コンフォート・ティファニーの藤のランプに着想を得ている

アジア最大の旗艦店「ティファニー 銀座」 ジュエリーとアートが響き合う美の空間 TIFFANY & CO.

「ティファニー」の新たな拠点が銀座に誕生。日本文化とアート、クラフトマンシップが織りなす空間は、訪れる人をブランドの世界観へと深く引き込み、これまでにない体験型のラグジュアリーを提案する。

© TIFFANY & CO.

銀座の新名所として、今ひときわ存在感を放っているのが、7月11日にオープンした「ティファニー」のアジア最大の旗艦店「ティファニー 銀座」。ニューヨークの本店「ザ ランドマーク」の最新デザインを継承し、クラフト、アート、ヘリテージが融合した空間が特徴だ。

ファサードデザインを手がけたのは日本を代表する建築家の青木淳。ティファニー ブルーに彩られた波のようにうねるガラスファサードは、ブランドの伝統と自然の美しさを表現している。また、日本人アーティスト藤村喜美子とのコラボレーションによるショーウィンドウも、ジュエリーと現代アートが響き合う演出で、見るものを惹きつける。

店内のインテリアデザインは建築家ピーター・マリノが担当。日本文化や工芸への敬意が随所にちりばめられ、さらにススム・カミジョウやジュリアン・シュナーベル、ダミアン・ハーストといった世界的アーティストの作品を含む50点以上のアートが店内を飾り、まるで美術館を訪れたような印象を受ける。「ティファニー」のアーカイブから選ばれた約65点もの名作ジュエリーも展示

されており、そのうち半数は日本初公開のものだ。5層にわたるフロア構成もまた圧巻。1階はダイヤモンドをモチーフにした天井のインスタレーションと巨大なミラーアートが来店者を迎える。地下1階では、和紙を折り紙のように配した天井と眩いダイヤモンドジュエリーが共演。2階は金沢の金箔技術を生かした装飾が天井に広がり、アイコンックなコレクションやタイムピースが並ぶ空間に。3階はブライダルリングやハイジュエリーの煌めきに、銀箔を使った天井アートが優雅さを添える。そして4階にはホームコレクションが並び、8月には庄司夏子シェフ監修の「ブルー ボックス カフェ」がテラス併設でオープンを果たした。

五感すべてでブランドの世界を体感できる、アートとラグジュアリーが響き合う「ティファニー 銀座」は、訪れるたびに新たな発見をもたらしてくれるはずだ。

「ティファニー 銀座」
住所: 東京都中央区銀座6-9-2
営業時間: 10:30 ~ 20:30
定休日: 不定休
お問い合わせ先: 0120-488-712
www.tiffany.co.jp/stories/tiffany-ginza

Autumn Look ブラウンと“光”でつくる。 シックに纏う秋の立体感メイク

早くも秋メイクのシーズンが到来。“いつもの顔”になりがちな大人のメイクを、今年らしく仕上げるポイントは？
プロのアドバイスと新作コスメで、シックな立体感メイクに挑戦してみては。

photos: Asa Sato, text: Kiriko Sano



まぶたに寄り添うニュートラルカラー

〈左から〉EXCIA エレガントなツヤで、まぶたにハリ感をもたらすスモーキーな発色のピンクベージュ。透明感のあるまなざしへ、アイカラー ヴォロンテ 08 ¥6,600(9月18日発売) / アルビオン CHANEL メゾンを象徴する、ボタンのデザインからインスピレーション。青みを含んだベージュ〜ブラウンの4色。レ キヤトル オンブルブトン 219 ¥11,880(限定発売中) / シャンネル ADDICTION ミュートカラーの単色のなかでも、溶け込むようになじむベージュがおすすめ。ザ シングル アイシャドウ マット 〈上〉004M、佐伯さんが注目する“黄みベージュ”でベージュをアップデート 〈下〉009M 各¥2,970(セット価格) / ともにアディクション ビューティ

“ひとさじのブラウン”が今季のキーワード

〈左から〉RMK 静かなツヤ感と旬なモーヴブラウンで、正統派のリップメイクを刷新。RMK ベルベットシールリップカラー 03 ¥4,400(セット価格) / RMK Division VALENTINO BEAUTY 唇のpHに反応して発色するバーム。シアー発色の軽やかなチョコレートカラー。スパイク ヴァレンティノ リップバーム 199A ¥6,930 / ヴァレンティノ ビューティ PRADA 透明感をもたらす青みピンクをセレクト。モノクローム ウェイトレス リップカラー(スムース ナイロン) P160 ¥7,260 / プラダ ビューティ Clé de Peau Beauté 落ち着いたトーンのオレンジベージュ。マット質感ながらうるおい、ピュアな発色が続く。ルージュアレーブル マット 123 ¥7,150 / クレド・ポー ボーテ

聡明ハイライトで大人の顔に清潔感

〈上中央から時計回り〉YVES SAINT LAURENT 人気のハイライターの新色は、上質なツヤ感で澄んだ印象に見せるラベンダーカラー。オールアワーズ ハイパールミナイザー 69 ¥9,350 / イヴ・サンローラン・ボーテ GIVENCH ¥ [プリズム・リーブル]シリーズからハイライターが限定登場。リッチなホワイトとシャンパンカラーの組み合わせで、エアリーな光を纏えるルースタイプ。プリズム・リーブル ハイライター No.16 ¥6,930 / パルファム ジバンシイ NARS 光の反射でグローな肌へ。悩みをソフトフォーカスし、いきいきとした印象が手に入る。ライトリフレクティング ルミナizingハイウダー 03960 ¥6,050 / NARS JAPAN DIOR ハーリーなバステルカラーはまぶたにトッピング使いもおすすめ。バックステージ グロウ マキシマイザー パレット 002 ¥6,930 / パルファン・クリスチャン・ディオール SUQUU コーラルのチークとライトブルーのハイライターのコンビネーション。涼しげなカラーで冴えた肌トーンへ。ブラーリング カラー ブラッシュ 08 ¥6,600 / SUQUU THREE ベストセラーが16年を経て、初のリニューアル。左が血色カラー、右がハイライトカラー。THREE シマリング グロー デュオ R 01 ¥4,950(9月17日発売) / THREE



トレンドが点在する昨今、秋冬のランウェイでは、ニュートラルなルックが主流に。フランスを拠点に活動するメイクアップアーティストの佐伯裕介さんはこう語る。「'80s風のルックもありますが、全体的にはニュートラルなメイクが多かったですね。ただし、どれだけ“レス”にしたとしても、まぶたには薄いブラウンでうすらと立体感を出しています。ブラウンを使うとき、上下でトーンに差をつけるとモダンな印象に」。リップメイクもブラウンみのあるカラーに注目。「ブラウンみのあるレッドや、赤みを含んだベージュがおすすめ。シアーな発色や、少しツヤのある質感が特に大人には似合いそう。ベージュは人それぞれで似合うカラーが異なるので、実際につけ比べてみて」。顔全体の印象を左右するアイテムとして、今シーズンはハ

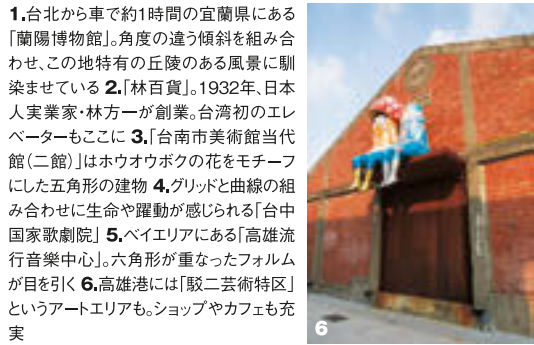
イライトが多数ローンチ。自然な立体感を手に入れるコツは？「目の内側に“く”の字”に入れるメイク法がリバイバル。下まぶたのキワに光を加えると、明るい印象になって清潔感がアップします。どこか聡明な印象や、ピュアさが加わるのでぜひトライしてほしいですね。また、明るめのコンシーラーをハイライト代わりに使うのも有効。より自然な立体感が得られます。いずれにしても、マチュア世代はどこかに光を加えるほうが、フレッシュな印象が手に入りますよ」

—— 佐伯裕介 YUSUKE SAEKI / メイクアップアーティスト
パリを拠点に雑誌、広告、ショーメイクなどを幅広く手掛ける。計算し尽くされたテクニックと仕上りの美しさが持ち味。著書に「自分のままで圧倒的に美しい」。

© Courtesy of Louis Vuitton



© GORUNWAY



1.台北から車で約1時間の宜蘭県にある「蘭陽博物館」。角度の違う傾斜を組み合わせ、この地特有の丘陵のある風景に馴染ませている 2.「林百貨」。1932年、日本人実業家・林方一が創業。台湾初のエレベーターもここに 3.「台南市美術館当代館（二館）」はホウオウボクの花をモチーフにした五角形の建物 4.グリッドと曲線の組み合わせに生命や躍動が感じられる「台中国家歌劇院」 5.ペイエリアにある「高雄流行音楽中心」。六角形が重なったフォルムが目を引き 6.高雄港には「駁二芸術特区」というアートエリアも。ショップやカフェも充実



台湾ー日本直行便なら、機内でも台湾グルメ満喫！

台湾へ行くなら、チャイナエアラインが便利。台北・高雄へ、羽田・成田・関西・福岡・熊本・那覇などから直行便が就航している。台湾グルメが好きな旅人に嬉しいのが、機内食へのこだわり。一部路線では、7年連続でミシュラン・ビブグルマンに選ばれ、養生スープの名店として知ら

お問い合わせ：チャイナエアライン: <https://www.china-airlines.com/jp/jp>

TAIWAN

現代建築のフロントライン、台湾で創造の鼓動を感じる

圧 倒的なアート体験は、美術館の中だけであなたを待っているわけではない。日常に点在する「アートな刺激」を求めてアジアを旅するなら、台湾がおすすめ。今や、名だたる建築事務所や各国の巨匠が、前衛的な建物を多く手がけ、「現代建築のフロントライン」といった様相を呈している。

台北では、世界屈指の設計事務所OMA（オランダ）による、キューブから球体が飛び出たような「台北パフォーミングアーツセンター」や、躍動的な螺旋を思わせるヴィンセント・カレボー（ベルギー）の集合住宅「陶朱隠園」が、環境と響き合う。郊外には、ヤオ・レンシー（台湾）による、水に浮かんだ遺構のような「蘭陽博物館」が、自然の中に大迫力で鎮座する。

台中には、ルーヴル美術館のガラスピラミッドで知られるI.M.ペイ（アメリカ）設計の東海大学チャペル「路思義教堂」が。現代的でありながら、牧歌的な雰囲気が美しい。日本が誇る伊東豊雄設計による「台中国家歌劇院」では、繰り返し登場する有機的な曲線に目を奪われる。台南では、坂茂建築設計事務所と石昭永による「台南市美術館当代館（二館）」や、高雄ではスペイン×台湾の合同チームが手がけたランドマーク「高雄流行音楽中心」と出会うことができる。

台湾をより魅力的にしているのが、「現代建築の最前線」でありながら、「歴史建築の宝庫」でもあるという点だ。日本統治時代の「林百貨」（台南）や「宮原眼科」（台中）がいまも現役で愛されている。多様な建築スタイルが時代と共存し、独自の街並みを形成しているのだ。

アイコニックな建物は、街を行き交う人々に驚きや安らぎ、刺激や彩りを与え、そこに暮らす人々には誇りすら感じさせる。人や環境と響き合う「共鳴する空間」を生み出すのだ。そんな場所にはきっと、素敵な出会いが待っていることだろう。台湾で街歩きをしながら叶う、世界最高峰のアート体験。あなたも堪能してみてはいかがだろうか。

アジアで出会う、五感に響く癒やしのアート体験

涼やかな風が五感を目覚めさせてくれる秋。豊かなクリエイションから刺激を受ける、そんなアートな旅にはぴったりの季節だ。街に点在する“芸術の泉”を探しに出かけよう。

text: Jun Makiguchi



周囲の環境と調和する安藤忠雄の設計による「直島新美術館」(写真: GION)



〈上〉館内のカフェには瀬戸内海を望むテラスも(写真: GION)
写真はすべて福武財団提供 <https://benesse-artsite.jp/nnmoo/>
〈下〉京都芸術大学教授・後藤繁雄氏がアートプロデュースを担当する「直島旅館『ろ霞』」。tel: 087-899-2356(受付時間: 9:00 ~ 20:00) <https://roka.voyage/>

KOREA

世界が注目するK-アート、その現在地を訪ねる

韓

国のアートシーンが急速に拡大中だ。政府支援や大型アートフェアの開催、国際的ギャラリーの進出などにより発展めざましいアート事情は要チェック。ソウルでは、K-アートを知る上で外せない「アルコ美術館」へ。建築家キム・スグ

ンによる赤煉瓦の建物が印象的。無料展示も常時開催しているので、気軽に立ち寄って。巨匠の作品を見るなら、「釜山市立美術館」内へ。同館で最も人気を博す別館「李禹煥空間」では、ミニマルな表現が自己との深い対話を促す李氏の

代表作が並ぶ。

原州にあるアートと自然、瞑想をテーマにした安藤建築「ミュージアムSAN」もおすすめ。瞑想ホールを含む空間構成が大きな魅力。今こそ韓国アートに注目を。



「直島新美術館 開館記念展示—原点から未来へ」展示風景、2025年(写真: 来田猛)

る。アートを抱く建築も大きな見所のひとつ。島全体がアートミュージアムなのだ。2025年5月31日には、安藤忠雄が設計したベネッセアートサイト直島における10番目のアート施設「直島新美術館」が新たに加わった。多彩な視点を持ったアート表現を通して、時代や社会への多義的なメッセージを発信することを目的に、アジア地域の芸術家の作品を収集。目玉は、村上隆の大作「洛中洛外図 岩佐又兵衛rip」。京都での大規模個展時からさらに進化した作品は必見だ。村上氏本人による解説動画を見るのも楽しい。「ベネッセハウスミュージアム」「地中美術館」「杉本博司ギャラリー 時の回廊」などを巡り、自然・美術・建築の調和を堪能するならぜひ宿泊を。目覚めから眠りに就くまでアート体験に浸るなら、「直島旅館『ろ霞』」へ。瀬戸内の食、もてなしの心、随所に展示された若手アーティストの作品を通して、日本文化と直島の今を体感できる。



〈左〉「ミュージアムSAN」の瞑想ホール。「SAN」は韓国語で山を意味する言葉。「空間(Space)」「芸術(Art)」「自然(Nature)」を意味する単語による造語でもある 〈右〉新羅時代の古墳をイメージした9つのストーンマウンドが広がるガーデン 情報提供: 韓国観光公社



月と芸能に酔いしれる——星のや沖縄「琉球秋夜の宴」へ HOSHINOYA OKINAWA

華やいだ夏の喧騒が静まり、穏やかな風が吹き始める秋。この美しい季節ならではの楽しみが待っているのが、読谷村の海岸線約1kmにわたって広がる沖縄ラグジュアリーの最高峰「星のや沖縄」。

アートに、ここで待っているのは、伝統文化に触れるこの季節だけの特別な催しだ。

text: Jun Makiguchi

海と共に暮らす琉球文化を昇華させた「グスクの居館」をテーマに、「星のや」の8施設目として誕生した「星のや沖縄」。沖縄の史跡から発想を得た「グスクウォール」と自然海岸に囲まれた敷地には、色彩豊かな南国植物に溢れた畑と庭、海を臨む客室に、土地の独自文化を体験できる「道場」など、旅人を日常から解放放つゆったりとした空間が佇む。

9月7日から10月30日までは、旧暦に寄り添いながら伝統文化に触れる「琉球秋夜の宴」も開催される。かつて中国からの使者“冊封使”をもてなすために催されていた琉球王朝時代の「七宴」を現代的解釈で再現したもの。美しい月が夜空に浮かぶ中、歴史と芸能に彩られた非日常に没入できる。

期間中毎日行われるのが、「琉球伝統芸能のワークショップ」と、海に突き出たインフィニティプールサイドで披露される「宵の座」だ。ワークショップでは、その日の演目に合わせ、踊りに用いられる小道具や衣裳、歌詞の意味などを学び、芸能の背景にある物語や文化を深く知ることができる。その後は、海風が通り抜ける「集いの館」で、満月の夜に若い女性が遊ぶ様や五穀豊穡を祝う演目が披露される。伝統菓子「ふちゃぎ」と、香り高い「菊酒」をお供に五感すべてで秋の沖縄を味わう演出だ。

一夜限りの特別プログラムも見逃せない。旧暦の重要な日に、「道場」で開催される1日1組貸切のプライベートプログラム「中秋之宴」(10月6日)と「重陽之宴」(10月29日)だ。特に注目なのが、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている琉球芸能「組踊」の上演。舞台と客席の距離が近く、まるで時空を超えて王朝時代に迷い込んだような感覚を味わえる。宴の前には匠から直々に学ぶワークショップが行われ、演目によって異なる歴史背景を知り、登場人物の性別・身分・役柄によって発声方法を変える「唱え」も体験できる。そのうえで鑑賞すれば、演目の世界をより深く楽しめるはずだ。

夜は、一年中24時間利用可能な加温式プールから星を仰ぎ、朝は海風に包まれながら琉球空手で心身を整える。日中は伝統工芸や文化に触れ、食事やスパではこの土地ならではのエネルギーを体感。すべての客室はオーシャンフロントで、目の前に広がるのはイノー（サンゴ礁が育つ遠浅の海）と植物が自生する自然海岸だ。波の音が日常の疲れや心のざ

わめきを洗い流してくれることだろう。「星のや沖縄」が提案するのは、ただのリゾート滞在ではない。「暮らすように滞在する」ことで、土地の文化や季節と深く交わるという体験を可能にする時間だ。とりわけ秋は、文化と自然、静けさと華やかさが重なる特別な季節。月明かりの下で伝統芸能に心を寄せるこのひとときこそ、まさに「星のや」がテーマに掲げる「その瞬間の特等席」ではないだろうか。



1



2



3



4



5



6



「星のや沖縄」
住所: 沖縄県中頭郡読谷村儀間474
料金: 1泊¥170,000～
(1室あたり、税・サービス料込み、食事別)
※通常予約は2泊より
tel: 050-3134-8091 (星のや総合予約)
https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/hoshinoyaokinawa/

1.「琉球秋夜の宴」の期間中、プールサイドで毎夜開催される「宵の座」 2.リゾートを守る「グスクウォール」 3.豊作や子孫繁栄、無病息災を祈願。「ふちゃぎ」と「菊酒」 4.花笠や三線などの小道具を通して、伝統芸能のルーツに迫るワークショップも 5.メインダイニングでは、地元食材や食文化に着目し、健やかな美へと導くコース「琉球ガストロミア〜Bellezza〜」を堪能 6.「道場」を貸切にして鑑賞できる一夜限りの宴

時間と距離を超えた、至高のアートに出会う。 大阪・関西万博で堪能するイタリアの芸術と美食 EXPO 2025

大阪・関西万博が開幕するやいなや、大きな話題を呼んだイタリア館。カラヴァッジョ、ミケランジェロ、ダ・ヴィンチなどの美術品を間近に観られるほか、屋上には緑豊かな庭園と、郷土料理を味わえるレストラン「イーターリー」も。

イタリアの魅力が惜しみなく注ぎ込まれた、必見のパビリオンへ。

text: Saya Tsukahara, photos: Courtesy of Italy Pavilion at Expo 2025



「ファルネーゼ・アトラス」



手前に展示されているのが、ティントレット「伊東マンショの肖像」



大屋根リングから望む屋上庭園



ミケランジェロ「キリストの復活」

レオナルド・ダ・ヴィンチ「アトランティックコード」の素描



ヤコ「循環器系」。白い陶製の心臓からなるインスタレーション



屋上庭園にはミソバチの巣箱が設置されている

フランチェスカ・レオーネによるバラの彫刻「No Name」



レストラン「イーターリー」。営業時間は11:00～21:15(ラストオーダー 20:20)

「L'Arte Rigenera la Vita(アートが生命を再生する)」をテーマに構成されたイタリアパビリオンでは、古代から現代に至るまで選りすぐりの芸術作品を観ることができる。来場した人々をまず驚かせるのが、日本初公開の「ファルネーゼ・アトラス」(作者不明)。紀元前2世紀の大理石彫刻で、ナポリ国立考古学博物館の至宝だ。重さは約2トン、ナポリから大阪までおよそ1万キロメートルを渡ってきた。

さらに「ファルネーゼ・アトラス」のそばにはミケランジェロの彫刻「キリストの復活」がそびえ立ち、レオナルド・ダ・ヴィンチの「アトランティックコード」から素描も展示されている。そしてイタリア館内に設置されたバチカン館で待ち受けるのが、カラヴァッジョの名作「キリストの埋葬」。本作品も日本初公開だ。本国でも今回ほど近くで観られることはないという。これらの歴史ある名品とともに多彩な現代アーティストの作品が並び、過去と現在が交錯する。

加えてイタリアと日本のつながりを物語る作品も展示されている。一つは、ティントレットの「伊東マンショの肖像」。1585年、両国にとって初めての外交会談を祝って描かれた肖像画だ。頭上を見上げると目に飛び込んでくるのが、精巧な飛行機の模型。1920年にアルトゥーロ・フェラーリングがローマから東京への初飛行に使用した機体を再現したもので、イタリアから日本への旅を象徴する。時間も距離も超える壮大な展示空間に圧倒されることだろう。

屋上には庭園が広がり、現代アーティストのフランチェスカ・レオーネによる彫刻作品などが展示されている。近くのパビリオン建築を眺めて散歩するのも清々しい。屋上にある開放的なレストラン「イーターリー」では、庭園の眺望を楽しみながら、18のイタリア地域とコラボレーションした郷土料理を週替わりで味わえる。1階エントランス付近でも、ピンサやパニーニなどの軽食やイタリアンジェラートを提供。「イーターリー」も軽食エリアも予約は不要で、イタリア館の入場列とは別のルートで体験できる。青空の下、ジェラートを食べながらひと息つくのもおすすめだ。



「イタリアパビリオン」

デザイン設計は、MCA(マリオ・クチネッラ・アーキテクト)。ルネサンス期の理想都市に着想を得た館内に、イタリアの都市文化を象徴する劇場、ボルテッコ(列柱廊)、広場、庭園が配置されている。美術品や職人が手がけた工芸品のほか、イタリア宇宙機関などによる科学技術の現在地も展示。館内の円形劇場では、毎日午後6時からライブパフォーマンスが開催されている。

https://www.expo2025.or.jp/official-participant/italy/

CHAUMET

「ショーメ」が大阪・関西万博で自然美を讃える展覧会を開催

フランスを代表するハイジュエラー「ショーメ」が9月1日(月)から10月13日(月・祝)まで、大阪・関西万博フランス館にて展覧会『Chaumet, an Ode to Living Nature ― ショーメ、自然美への賛歌 ―』を開催。本展は、240年以上にわたり自然主義を軸に創作を続けてきた「ショーメ」の世界観を、臨場感あふれる空間演出とともに体感できる特別なエキシビションだ。

まず来場者を迎えるのは、15メートルにおよぶ回廊。「ショーメ」と日本、それぞれの歴史的瞬間を年表とイメージで示し、両者に通じる美意識と精神性のつながりを紹介する。ブランドの象徴であるショーメブルーが配され、次の章への静かな導入となっている。次なる空間では、鏡や映像、音の反射が織りなす万華鏡のような演出によって、自然の無限の美と「ショーメ」の創造の源泉が浮かび上がる。投影される映像は、自然からのインスピレーションがどのようにメゾンの核を成してきたかが表現され、希少な歴史的ジュエリーも展示。ブランドのヘリテージと自然主義の結びつきを印象的に描き出す。

続く空間では、「ショーメ」の現代的解釈であるコレクション「Bee de Chaumet」にフォーカス。ヘリテージピースから最新の2025年モデルへと連なる展示が、「ミツバチの巣」を想起させるアルコーブで展開される。フィナーレを飾るのは、和紙製のハニカムで包まれた360度の没入型インスタレーション。床と天井に連なるハニカム構造、光とミラーの演出により、まるで「ショーメ」の創造精神の中に身を投じるような感覚を味わえる。

歴史、自然、そして現代性が響き合い、感覚的な旅へと誘う「ショーメ」の展覧会。開催後半を迎えた大阪・関西万博において、見逃せないハイライトのひとつとして、詩情溢れるその世界観をぜひ体感してみてください。



©Chaumet / Nils Herrmann



©Chaumet / Nils Herrmann



©Chaumet

朝比奈彩出演「marie claire TV
～CHAUMET 自然と歴史が織りなす美学～」
9月14日(日)午後4時放送

「marie claire」の視点から世界の代表的なメゾンやブランドを紹介する番組「marie claire TV」がBS日テレで7月からスタート。第二弾として「～CHAUMET 自然と歴史が織りなす美学～」を9月14日(日)午後4時から放送。「ショーメ」の歴史や伝統、そして大阪・関西万博 2025 のフランス館で開催される展覧会の様子を、メゾンのジャバン・サダーで女優・モデルの朝比奈彩さんが案内する。民放公式テレビ配信サービス「TVer(ティーバー)」の見逃し配信でも9月21日まで視聴できるので見逃しなく。

marie claire
TV



会場では希少なヘリテージピースやアイコンックなコレクションが披露される。1. ナポレオン1世の皇后ジョゼフィーヌが愛した妻の穂のティアラをイメージした作品 2. 1820～1850年のロマン主義の時代に作られたバンジーの花のティアラ。ありのままの姿を描いた自然への賛美が特徴 3. 「Bee de Chaumet」コレクションのリング。ミツバチの巣のように連なるハニカムモチーフが、グラフィックでモダンに表現されている

「Chaumet, an Ode to Living Nature―ショーメ、自然美への賛歌―」

期間: 9月1日(月)～10月13日(月・祝)
会場: 大阪・関西万博2025 フランス館
時間: 9:00～21:00
※9月1日(月)～3日(水)はエキシビション開場時間が異なります。あらかじめご了承ください。
9月1日(月) 14:00～21:00 / 9月2日(火)～3日(水) 9:00～15:00
https://www.chaumet.com/jp_ja/world-expo-osaka-kansai

marie claire
P.E.N
GOLF

愛知県で今年も「marie claire」ゴルフコンペを開催！

「marie claire」は、10月31日(金)に愛知県で「marie claire open golf in Aichi2025」を開催します。会場は、JLPGAツアートーナメント「ブリヂストンレディスオープン」が隔年で行われる愛知県の名門コース「中京ゴルフ倶楽部 石野コース」。当日は、18ホールすべてを貸し切り。ライフスタイルを彩る「クラウン」の試乗など、ラウンド以外の楽しみも満載。また参加賞のほか、ゴルフ用品など豪華賞品も多数用意しています。当日はスペシャルゲストとして東尾理子さんが来場し、参加者の皆さんとのニアピンチャレンジやトークショーを実施予定。豊かな自然に囲まれた風光明媚な名門ゴルフ場で、スコアを気にせず楽しめる女性だけのイベントです。

また、12月1日(月)にはコンペ参加者だけの「After party」も開催。スペシャルゲストによるトークショーのほか、シミュレーションゴルフを活用したイベントも行います。スイーツやドリンクの試食もあります。友人とコンペでの思い出を振り返ったり、新しいゴルフ仲間を探したり、参加者皆さんで盛り上がりましょう。

お一人でも友達同士でも、ご家族でも、ぜひお早めにエントリーください。



スペシャルゲスト/東尾理子さん



ゴルフコンペ

開催日時: 2025年10月31日(金)
7:00～17:00(7:00受付開始)

場所: 中京ゴルフ倶楽部 石野コース
愛知県豊田市芳友町深田510 tel: 0565-41-2100(代表)

参加費: おひとり様 ¥25,000(税込み)
キャディー付きプレーフィー、昼食(軽食)、ウェルカムドリンク、ソフトドリンク(3杯)、練習場ボール1箱、パーティ費、ゴルフ利用税を含む。その他飲食は別途(現地清算となります)。

※お申し込み後、当選者の方にメールでお知らせし、参加費を事前決済(WEBクレジット決済)にて申し受けます。警報発令などでゴルフ場自体が営業できない事態にならない限り、荒天決行です。入金後のキャンセルおよびご返金は承りかねます。ゴルフ場自体が運営できない場合はイベントを中止し、参加費は返金致します。

競技方法: 18ホールストロークプレー、プレー後に表彰パーティを開催、新ベリア方式により順位決定

4カ所からのショットガンスタートを予定。優勝、ベスグロ賞、ニアピン賞、ドラコン賞などを予定。参加者全員にお渡しする参加賞もご用意しています。

ドレスコード: ゴルフ場のドレスコードに準ずる

After party

開催日時: 2025年12月1日(月)
13:00～16:00(12:00受付開始)

場所: THE CROWN 愛知高辻
愛知県名古屋市中区高辻町6-8 tel: 052-883-6887

参加費: 無料



●募集詳細、
エントリーはこちらから

申し込み締め切り: 9月3日(水)23:59まで
※お申し込みは「ゴルフコンペ+After party」「ゴルフコンペのみ」のいずれかをお選びいただけます

上記URLから応募フォームにアクセス。必要事項をご記入の上お申し込みください。募集定員36組144名、エントリーはお早めに。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。応募締め切り後にメールの発送をもって当選・落選の発表とさせていただきます。
※本イベントのスケジュール・内容は都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。
※本イベント中、または本イベントの参加の行程で発生した事故、けが、疾病、所持品の紛失または破損などによる一切の損害について、主催者は主催者の責めにより発生した損害を除き、責任を負いかねます。
※イベント中に写真撮影を行い、雑誌「marie claire」、「marie claire digital」、読売新聞本紙、Instagramなど読売新聞関連の媒体、サイト、SNSのほか、協賛各社のサイト、SNSなどに掲載する場合がございます。予めご了承ください。

marie claire 9月25日刊行です

25th September, 2025

shop list 掲載商品のお問い合わせ先

ア アディクション ビューティ tel: 0120-586-683
RMK Division tel: 0120-988-271
アルビオン tel: 0120-114-225
イヴ・サンローラン・ボーテ tel: 0120-526-333
ヴァレンティノ ビューティ tel: 0120-323-220
エルメスジャパン tel: 03-3569-3300
カ ガブリエラ ハースト ジャパン tel: 03-6807-5077
グッチ クライアントサービス tel: 0120-99-2177
クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947

サ クレド・ボー ボーテお客さま窓口 tel: 0120-86-1982
クロエ カスタマー・レレーションズ tel: 03-4226-3883
サンローラン クライアントサービス tel: 0120-952-746
ジバンシイ ジャパン tel: 0120-218-025
ジミー チュウ tel: 0120-013-700
シャネル カスタマーケア tel: 0120-525-519
ジョルジオ アルマーニ ジャパン tel: 03-6274-7070
ジルサンダー・ジャパン tel: 0120-998-519
SUOQUU tel: 0120-988-761

THREE tel: 0120-898-003
タ トッス・ジャパン tel: 0120-102-578
ナ NARS JAPAN tel: 0120-356-686
ハ パーバリー・ジャパン tel: 0066-33-812819
ラルファーム ジャパン・シイ[LVMHフレグランスフランス] tel: 03-3264-3941
バルファン・クリスチャン・ディオール tel: 03-3239-0618
フェラガモ・ジャパン tel: 0120-202-170
フェンディ ジャパン tel: 0120-001-829

プラダ クライアントサービス tel: 0120-45-1913
プラダ ビューティ tel: 0120-950-992
フルネロ クチネリ ジャパン tel: 03-5276-8300
ボッテガ・ヴェネタ ジャパン tel: 0120-60-1966
マックス・マラー ジャパン tel: 0120-030-535
ミュウミュウ クライアントサービス tel: 0120-45-1993
ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854
ロエベ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116
ロロピアーナ ジャパン tel: 03-5579-5182



marieclairejapon.com

Welcome to Our Site!

主催 marie claire

会場 中京ゴルフ倶楽部 石野コース

特別協賛 THE CROWN 愛知高辻

協賛 Matsuzakaya 松坂屋・名古屋店